

3 応急対策

【1】 災害対策本部の設置

9月1日21時09分、津市、松阪市、名張市、伊賀市、尾鷲市、熊野市、大台町、紀北町に大雨警報が発表されたことに伴い、三重県災害対策本部を設置しました。2日12時50分には、熊野市、御浜町、紀宝町を含む県南部の13市町に暴風警報が発表され、その後も大雨警報、洪水警報、暴風警報が他地域の市町に発表されるなど、県内の全域にわたって激しい雨が続きました。

県災害対策本部では、警報が発表された地域の市町から、被害情報を収集するとともに、水害による被災者の救出救助のため、自衛隊及び第四管区海上保安本部に対する災害派遣要請等を行い、警察本部、他県防災機関等と連携して、緊急初動対応にあたるとともに、被害地域における避難者の安全確保や避難生活の維持にあたりました。



県災害対策本部会議の状況

【2】 人命救助等の状況

大雨による家屋の浸水や土砂災害に見舞われた被災者を救出するため、地元消防機関や警察が人命救助にあたるとともに、特に被害の甚大な紀宝町に対して、知事が自衛隊及び第四管区海上保安本部に対し災害派遣等を要請し、救出・救援活動を行いました。

こうした活動により、土砂災害、家屋浸水等によって孤立していた多数の被災者が救出されましたが、残念ながら2名の死者と1名の行方不明者が出る結果となりました。

① 陸上自衛隊の救助活動及び給水活動等

市町名	活動期間	活動人員数
紀宝町	9月4日～14日	延べ2,042人

実施内容	活動期間	活動内容
救助活動	9月4日～6日	人命救助：108人
給水活動	9月5日～13日	給水支援：163t
物資輸送	9月5日	物資搬送：食料、飲料水等



陸上自衛隊による救助活動（左：紀宝町鮎田 右：紀宝町浅里）

② 第四管区海上保安本部の救助活動等

市町名	活動期間	活動内容	活動人員数
紀宝町	9月5日	人命救助：1人	延 6人
紀宝町	9月5日～7日	物資搬送：食料、飲料水等	延 20人
紀宝町	9月5日～11日	捜索、被害状況調査	延626人



第四管区海上保安本部による救助活動、救援物資搬送活動（紀宝町瀬原地区）

③ 警察本部の救助活動等

市町名	活動期間	活動内容	活動人員数
熊野市	9月4日～19日	捜索、パトロール、救助約60人	延 90人
紀宝町	9月4日～19日	捜索、パトロール、救助約50人	延337人



警察本部機動隊による救助活動（左：紀宝町大里、右：紀宝町高岡）

④ 防災へリの救助活動

市町名	活動日	活動内容
熊野市	9月5日	3人救出
紀宝町	9月5日	2人救出
熊野市	9月6日	1人救出
熊野市	9月7日	1人救出
十津川村（奈良県）	9月8日	4人救出



県防災航空隊による救助活動（左：熊野市大馬、右：熊野市神川町）

【3】 災害救助法

(1) 災害救助法の適用

台風第12号による被害により、熊野市、南牟婁郡御浜町及び南牟婁郡紀宝町において多数の方が生命又は身体に危害を受け、又は受けるおそれが生じており、避難して継続的に救助を必要とすることから、県は下記のとおり災害救助法を適用しました。

災害救助法適用市町	法適用日
熊野市 南牟婁郡御浜町 南牟婁郡紀宝町	平成23年9月2日

(2) 災害救助法による救助

発災直後から、避難所の設置、住宅の応急修理などの救助事務について、法適用市町に委任するとともに、県は、飲料水、食料品及び生活必需品の供給等を行いました。

なお、法に基づいて行った救助に要した費用は、県が負担しました。

(主な救助内容)

- ・避難所の設置【平成24年1月21日終了】
災害により被害を受けた方、又は受けるおそれのある方を受け入れ、保護するために避難所を設置し、その運営を行いました。
- ・応急仮設住宅の供与（民間賃貸住宅借り上げ）
【平成23年11月30日受付終了】
住家が全壊又は流出し、居住する住家がない方のため、2年間を上限として、民間賃貸住宅を借り上げました。
- ・住宅の応急修理【平成23年12月31日受付終了】
住家が半壊以上の被害を受け、生活に支障がある方のため、居室、炊事場、便所等の応急修理を行いました。
- ・学用品の給与【平成23年11月15日終了】
災害により教科書や文房具等を喪失又は損傷した小学児童、中学・高校生徒に、学用品を給与しました。

【4】 保健師派遣の状況

災害発生時は、住民が避難所での生活や衛生環境の悪化等により体調を崩す危険性があるため、熊野市、紀宝町に県及び市町の保健師を派遣し、避難所の巡回や各戸訪問による健康相談活動を実施しました。

保健師活動実績

市町名	延べ 支援日数	訪問			避難所巡回		健康相談	
		世帯	面接 世帯	面接 者数	延べ 箇所数	相談延 べ人数	延べ 箇所数	相談 者数
熊野市	17	859	484	572	43	101	—	—
紀宝町	21	960	479	578	60	186	31	166

保健師の活動状況



【5】 救援物資の搬送状況

道路被害等による孤立化や避難生活に伴い不足した食料及び生活必需品の、「生活必需物資等の調達に関する協定」に基づく協定先から確保して、熊野市、紀宝町に搬送しました。

品 目	紀宝町		熊野市	
飲料水	2 L (水・茶)	25,640 本	—	
食 料	アルファ米	1,000 食	—	
	パン	30,000 食		
	カップラーメン	10,000 食		
	栄養調整食品	3,000 個		
生活物資	シャツ等約	1,600 枚	シャツ等約	2,800 枚
	タオル	2,000 枚	マスク	3,000 枚
	運動靴・サンダル	約 1,700 足	ウェットティッシュ等	700 個
	マスク	3,000 枚	他	
	ウェットティッシュ等	約 5,300 個		
	他			



飲料水・食料等の救援物資（紀宝町）

【6】 道路、河川などの応急復旧状況

応急復旧については、できる限り速やかに対応を行っています。技術的に時間を要するものもあり、今後順次復旧を進めていきます。

区 分	応急復旧の状況
河川堤防	二次災害防止のため、洪水で崩れた護岸を大型土のうにより仮復旧工事を実施しました。
道路通行止め箇所	土砂崩落等で通行不能になった道路を速やかに復旧し、22 地域で発生した孤立集落の解消を図りました。
農業施設	生産活動に支障のないよう農道や水路の土砂撤去を実施しました。
漁港施設	漁港内の流木等での埋塞により漁業活動に支障が出ないように、すみやかに撤去を完了しました。
海岸施設	海岸への流木等の漂着で海岸施設に損傷を与えないよう撤去を継続して実施中です。
教育施設	床上浸水等により休校となった学校も9月20日には、すべて再開されました。



崩落土砂の撤去（県道飛鳥日浦線（熊野市））



築堤護岸の応急対策（尾呂志川（御浜町））



河川土砂撤去
（所谷川（津市））

【7】 災害廃棄物の処理状況

熊野市、御浜町、紀宝町、大台町、大紀町において、約 21,660 トンの災害廃棄物が発生し、被災市町では処理が困難なため、三重県災害等廃棄物処理応援協定に基づき、広域的に処理を行いました。



集積された災害廃棄物の山



水害により発生した災害廃棄物

【8】 水道の給水活動及び応急復旧の状況

水道の断水が発生した県内6市町のうち、熊野市、紀宝町における被害が大きく、飲料水の確保が困難となったため、三重県水道災害広域応援協定に基づき、水道用水供給事業者及び水道事業者による応急給水活動を行いました。

被災市町	期間	給水車派遣状況
熊野市	9月5日～16日	県内10水道事業者から 延 66台
紀宝町	9月4日～17日	県内16水道事業者から 延117台



応急給水活動

【9】 災害ボランティアの活動状況

熊野市、御浜町、紀宝町で災害ボランティアセンターが立ち上がり、県内外のボランティアの方の活動拠点となりました。

また、9月5日、みえ災害ボランティア支援センターを設置し、ボランティアバスの運行等を実施しました。

災害ボランティアの主な活動内容は、次のとおりです。

- ・浸水家屋からの家具、畳等の搬出
- ・家屋等の清掃
- ・ごみの回収、搬送など

○ みえ災害ボランティア支援センターの主な取組

活動内容	期間	備考
ボランティアバス「東紀州行き！ボラパック」の実施	9月14日～ 10月16日※	参加者数 533名
ボランティア活動支援金の募集	9月14日～ 1月17日	支援金総額 1,902,589円

※ 合計19便のうち、第4便（9月20日）、第5便（9月21日）は台風接近のため中止。
第19便（10月21日）はニーズの収束により中止。



作業を行うボランティア

【10】 県職員の派遣状況

被災した市町からの県職員派遣要請に応じて、発災直後から、各家庭の消毒や廃棄物処理、家屋被害調査、被災者の健康相談、被災した児童の心のケア、その他の復旧復興等の支援を行うため、県職員を派遣しました。

(被災市町への県職員の派遣結果)

(単位:人・日)

熊野市	大台町	大紀町	御浜町	紀宝町	合計
542	60	176	97	1,293	2,168

※累計は、平成23年9月5日～12月22日までに派遣した職員の述べ人・日数



派遣職員の活動状況（紀宝町）

【11】 大臣等による被災地視察状況

今回の被害が甚大な状況にあることから、9月5,6日に平野防災担当大臣など政府調査団による現地調査が行われました。また、9月9日には野田内閣総理大臣による現地調査、知事、紀宝町長との意見交換が行われ、知事から激甚災害の早期指定等について総理大臣に要望を行ったところ、異例の早さで激甚災害の指定がなされました。

このほか、参議院災害対策特別委員会の現地調査など、政府関係者が被災地調査に訪れました。

期 日	視 察 者	視察先（三重県内）
9月5日(月)	政府調査団 (団長：阿久津内閣府大臣政務官他26名)	・紀宝町役場で知事、紀宝町長と意見交換
9月6日(火)	平野防災担当大臣 (政府調査団と合流)	・紀宝町役場で知事、紀宝町長と意見交換 ・紀宝町大里地区調査
9月9日(金)	野田内閣総理大臣 後藤内閣副大臣	・紀宝町役場で知事、紀宝町長と意見交換 ・紀宝町大里地区調査
9月25日(日)	中川文部科学大臣	・紀宝町立相野谷小学校、三重県立紀南高等学校調査 *調査先に知事、紀宝町長同行
10月4日(火)	参議院災害対策特別委員会 (委員長：松下参議院議員他16名)	・紀宝町役場で知事、紀宝町長と意見交換 ・紀宝町鮎田水門・高岡地区輪中堤・大里地区輪中堤調査
10月10日(月)	溝畑観光庁長官	・紀宝町浅里地区飛雪の滝キャンプ場、川舟乗船による熊野川名勝、昼嶋被害調査 *調査先に知事、紀宝町長同行
10月17日(月)	前田国土交通大臣	・紀宝町鮎田水門・高岡地区調査 *調査先に副知事、紀宝町長同行
12月3日(土)	齋藤内閣官房副長官	・紀宝町高岡地区調査 *調査先に副知事、紀宝町長同行



9月5日政府調査団（阿久津内閣府大臣政務官等）との意見交換



9月6日政府調査団（平野防災担当大臣等）による現地調査



9月9日野田内閣総理大臣による現地調査



9月25日中川文部科学大臣との意見交換



10月4日参議院災害対策特別委員会との意見交換



10月10日溝畑観光庁長官による現地調査



10月17日前田国土交通大臣との意見交換